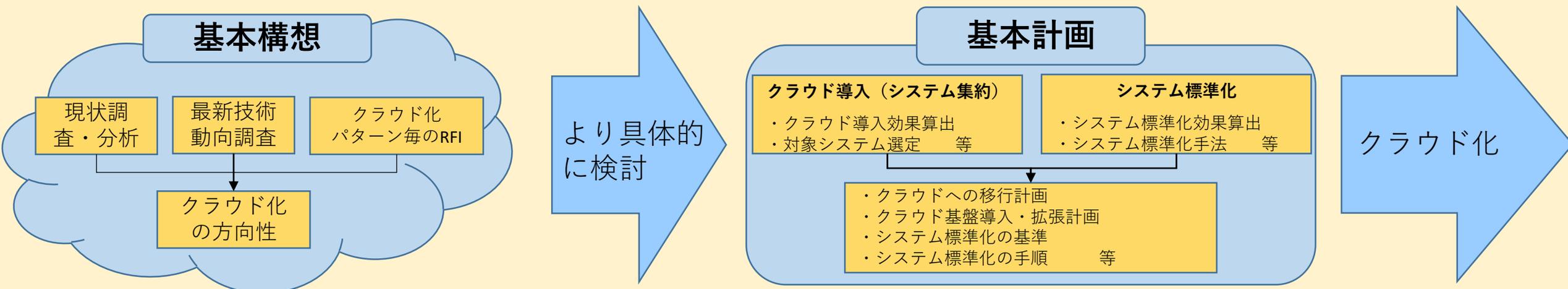


仙台市クラウド導入基本構想について（概要）

仙台市クラウド導入基本構想

◆ 策定の趣旨

- ・本市が目指すべき情報システムのクラウド^{※1}化の方向性を明らかにするとともに、その実現に向けた取り組みの方向性を共有化するために策定
- ・本基本構想において明らかとなったデータ連携などの課題事項は、令和2年度に予定する基本計画の策定過程で、具体的な対応策等を検討



※1 従来の機器やソフトウェアを自ら調達するのに対して、コンピュータ機器やソフトウェアなどをインターネットなどの通信ネットワークを通じてサービスとして利用すること。

クラウド化の必要性

◆ システム経費

- ・情報システム経費は今後も年間約100億円かかる見通しである
- ・各情報システム毎に導入・運用・保守を行っているため、それに伴う費用が重複して発生している
- ・現状の業務に合わせて、システムを改変するカスタマイズが行われている

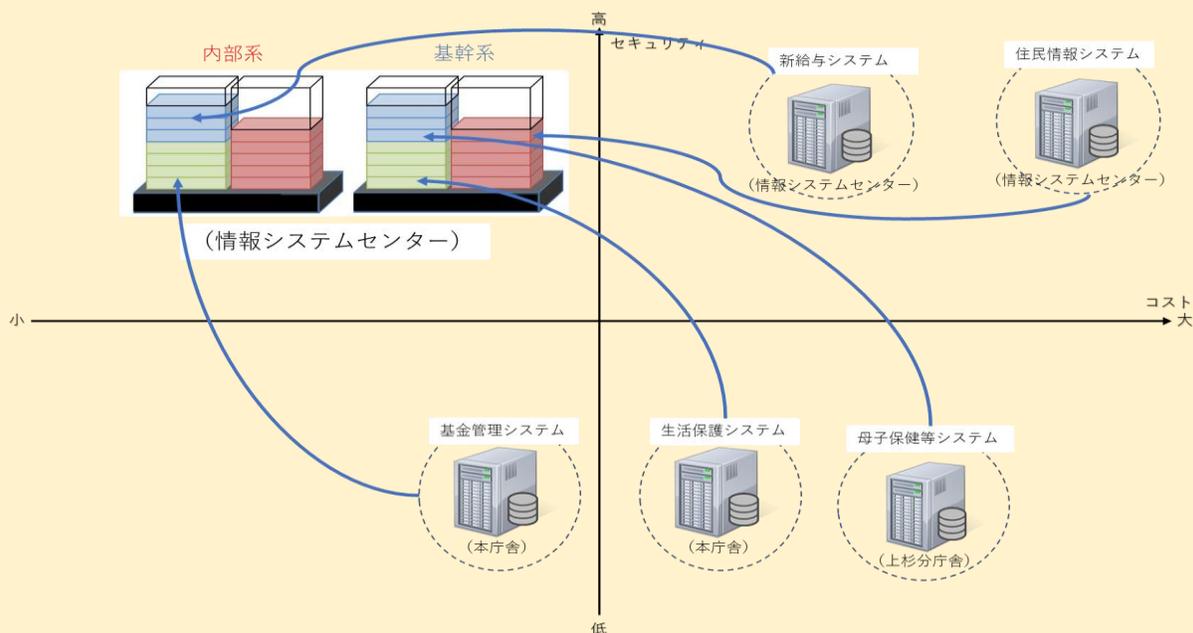
◆ 情報セキュリティ等

- ・本庁舎の執務室内に設置されているものなどは、情報セキュリティ水準の向上やオフィス環境の改善等の余地がある

クラウドの方向性

「情報システムセンターへの高集積化」、 「システム標準化」 により情報システムのコスト削減、情報セキュリティ水準の向上等を図る

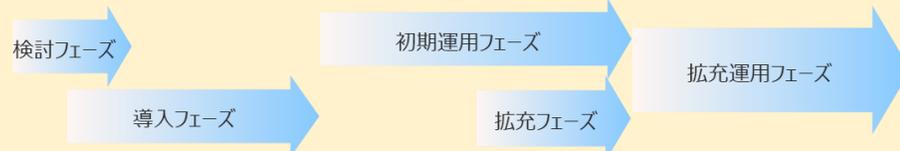
【情報システムセンターへの高集積化のイメージ】



【全体的なクラウド化のロードマップ】

	R1 - 5年	R6 - 10年	R11 - 15年
基幹系システム	計画策定・内部ルール検討 IaaS基盤 拡充検討 要件検討	第1期稼働	第2期稼働
内部系システム		内部事務系統合システム稼働 (随時拡充)	第2期稼働
個別系システム		外部データセンターの活用	内部系システムIaaS基盤へ統合

全体的な流れ



基幹系システム

住基・税・福祉などの市民の情報を扱う情報システム

- ・ 情報システムセンターに基幹系システムのIaaS^{※2}基盤を構築
- ・ データ連携等の効率性の観点から、現在の基幹系システムに生活保護システムなどを加えて基幹系IaaS基盤に集約
- ・ データ連携や職員認証等に用いる既存の基幹系共通基盤システムを拡充

内部系システム

人事給与などの内部事務の処理を行う情報システム

- ・ 次期内部事務系統合システムの基盤を拡充して情報システムセンターに内部系システムのIaaS基盤を構築し、内部系システムを集約
- ・ 次期内部事務系統合システムのデータ連携や職員認証等に用いる内部系共通基盤システムを拡充

個別系システム

広聴相談など上記以外の業務で、個別事務に利用する情報システム

- ・ 内部系IaaS基盤への統合を優先に考えつつ、外部データセンターの活用（個別のSaaS^{※3}利用、パブリッククラウド^{※4}の利用も含む）も視野に入れて検討
- ・ 個別系共通基盤システムの構築についてはデータ連携の必要性等を勘案しながら検討

システム標準化

※2 ネットワーク経由でハードウェアやICTインフラを提供するサービス

※3 ネットワーク経由でソフトウェアパッケージを提供するサービス

※4 不特定多数の利用者を対象として広く提供されているクラウドサービス

クラウド化による効果等

クラウド化により、コスト削減、情報セキュリティ水準等の向上が見込まれる



クラウド化により削減された費用は...

今後の人口減少社会を念頭に、財政状況が厳しい中でも行政サービスを維持向上し、多様化するニーズに対応していくためには、さらなるICTの利活用は必須であるため、情報セキュリティ水準等の向上、業務の標準化・効率化、質の高い住民サービスなどを目的としたICT利活用の費用として活用

【削減された費用の活用イメージ】

